

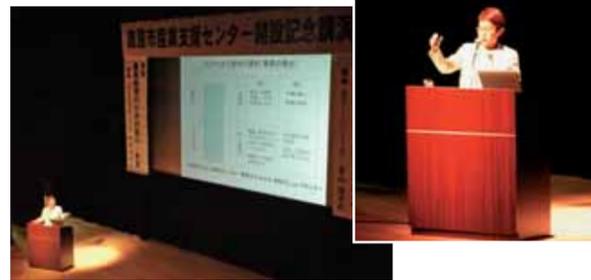
鹿屋 輝北 串良 吾平 新規就農者22人の門出を祝う



7月10日、市農業研修センターで「営農の門出を励ます会」が行われ、平成18年度から農業に取り組んでいる新規就農者22人の門出を祝いました。

お茶、ビニールハウス等で栽培する花き、白ネギ、養豚、肉用牛生産などの新規就農者の年齢は、21歳から38歳と幅広く、I・Uターンや転職など就農形態も様々。会では、「先人の技術を習得し、規模拡大を図りたい」「毎日が試行錯誤の連続だが、先輩達の指導を仰ぎながら頑張ります」など、一人ひとり力強い抱負を述べました。

鹿屋 鹿屋市産業支援センター開設記念講演会を開催



7月5日、市民交流センターホールで鹿屋市産業支援センター開設記念講演会が開催されました。

この講演会は、市の基幹産業である第一次産業を中心とする内発型産業振興の拠点施設として今年4月に開設した同産業支援センターの開設を祝って行われたもの。農業ジャーナリストの青山浩子氏が、ニーズが高まっている契約栽培の利点と課題を指摘し、青果会社社長の新福秀秋氏は、自身の経験をもとにITを使った農業経営を紹介するなど、参加した約250人は、2人の話に熱心に聞き入っていました。

鹿屋 輝北 串良 吾平 県内外から460チーム2,300人が参加したかのやばら祭りグラウンド・ゴルフ大会



「日本一の参加者数」と絶賛されたグラウンド・ゴルフ大会



ナイスショットでご満悦



木陰でプレーを観戦



血圧測定も行われました プレーについて談話中 みんなが見守る中、ボールはホールポストへ

7月10日、田崎町にオープンした日本最大級のグラウンド・ゴルフの専用競技場かのやグラウンド・ゴルフ場で、「第5回かのやばら祭りグラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

この大会は、グラウンド・ゴルフ愛好者の親睦、技術力の向上、生涯スポーツの振興などを目的に行われている大会で、今年は県内外から460チーム2,300人が参加。参加者は、日ごろの練習の成果を発揮するとともに、全面天然芝で起伏に富んだ同グラウンド・ゴルフ場のコース(8コース64ホール、最大12コース96ホール)を楽しんでいました。

また、日本グラウンド・ゴルフ協会が、この大会概要を聞いて「地方の一任意団体が主催する大会としては、日本一の参加者数を誇る大会」と大絶賛。来年10月に開催予定の「ねんりんピック鹿児島2008」のグラウンド・ゴルフ交流大会に向けて、大きな弾みになりました。



ボールに願いを込めて

鹿屋 鹿屋市歩こう会が車イスを10台寄贈



7月11日、鹿屋市歩こう会が市内14箇所のコースで、ウォーキングをしながら拾った空き缶などで得た収益で購入した車イス10台を鹿屋市に寄贈しました。

この車イスは、6年前からウォーキング活動に併せて、美化運動に取り組んできた同歩こう会から、福祉の増進に役立てて欲しいと贈られたもの。寄贈された車イスは市内の公共施設に設置されます。

鹿屋 鹿屋七日会が車イスを10台寄贈



7月24日、勉強会と社会奉仕に努めることを目的に昭和52年に発会した鹿屋七日会が、創立30周年を記念して車イス10台を鹿屋市に寄贈しました。

この車イスは、同会から福祉の増進に役立てて欲しいと寄贈されたもので、市内の公共施設に設置されます。なお、同会は、これまで福祉施設への慰問など、60回以上社会奉仕活動を実施しています。

鹿屋 鹿屋女子高50周年実行委員会が表敬訪問



7月5日、「鹿屋市立鹿屋女子高等学校創立50周年記念事業実行委員会」が市役所を表敬訪問しました。

同委員会は、鹿屋女子高が50周年を迎えたのを記念して、大手玩具メーカーの協力を得て製造した同校の制服を着た「リカちゃん」キーホルダー(体長10cm)を手に今年11月10日(土)に開催される記念式典をPRしました。



第11回 鹿児島県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会で見事優勝

7月27日、県立鴨池補助競技場で開催された「第11回鹿児島県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会」で、鹿屋市老人クラブAチームが見事優勝しました。

この大会には、県内11地区の代表の64チームから約450人が参加。鹿屋市老人クラブAチームは、日ごろの練習の成果と、はつらつとしたプレーで栄冠をつかみました。